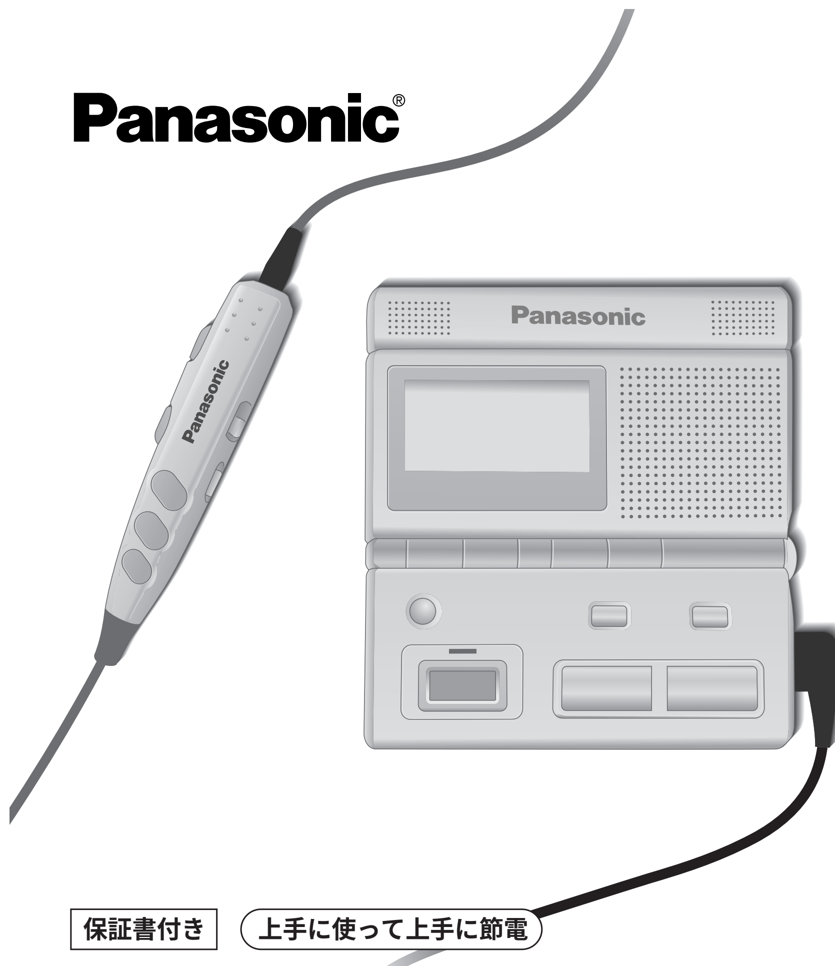
Panasonic®

品番 **SJ-MR50**

取扱説明書
Operating Instructions
ポータブルMDレコーダー
Portable MD Recorder



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」(☞ 4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

■お読みになったあとは、保証書といっしょに大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付き　上手に使って上手に節電

MDLP



松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT7709-S
F0904YH0

目次

準備 しよう

録音 してみよう

再生 してみよう

編集 してみよう

ご参考に

MDLP 長時間録音、再生

MDLP [LP2 (2倍)、LP4 (4倍)]録音と再生ができ、
モノラルモードで録音された曲も､自動的に判別して再生します。
(ただし、モノラル録音はできません。)

高音質録音機能

通常ステレオ録音では､“ HDES ”
(High Density Encoding System)がはたらき、
高音質での録音が可能です。

内蔵マイク録音

ステレオマイク内蔵で、本体だけで録音できます。
会議、講義、語学学習、野外での録音などに有用です。
また、音源の大きさに合わせて、自動的に録音を
開始・一時停止でき、効率のよい録音
[自動音声(VOS : Voice Operation System)録音]ができます。
別売りの外部マイク(☞ 9ページ)からも録音できます。

スピーカー再生

ステレオインサイドホンとリモコンを
接続しない時は、内蔵スピーカーから音が聞こえ、
会議などで使用できます。

A-Bリピート、再生速度調節

聞きたい範囲を指定して繰り返し聞いたり、
再生速度を変えることにより、
英会話などの語学学習に有用です。

リジューム機能

前回停止したところから再生します。
ふたの開閉、電池の交換をしたり、
録音、編集すると解除されます。

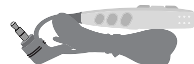
付属品

品番は2004年9月現在のものです。変更されることがあります。

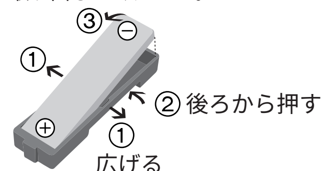
□ **ステレオインサイドホン**
(L0BAB0000190)



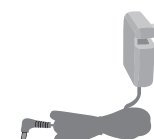
□ **ジョイント式リモコン**
(RFEV048PAST)



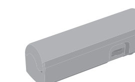
□ **ニッケル水素充電式電池**※
ケース(RFC0076-K)から
取り出してください。



□ **ACアダプター**
(RFEA005J-M)



□ **乾電池ケース**
(RFA1537-S3)



□ **キャリングケース**
(RFC0074-H)



■ 買い替えはかっこ内の品番で、お買い上げの販売店にご注文ください。
※ 充電式電池は、別売り品(HHF-AZ01S/1B)をお買い求めください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

充電式電池は、付属のACアダプターを使って充電する

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

充電式電池の⊕と⊖をショートさせない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属のケースに入れてください。
- 電池には安全のためにチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプターのコード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- 抜くときは、ACアダプター本体を持ち、まっすぐ抜いてください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

雷が鳴ったら、本機やACアダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

接触禁止

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

分解・改造しない



分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 点検や修理は、販売店にご依頼ください。

乗り物を運転中に操作したりステレオインサイドホンで使わない



事故の原因になります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

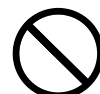
⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機や充電式電池、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

電池は誤った使いかたをしない



- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
  （乾電池入りの乾電池ケースも同様です。）
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

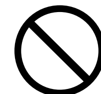
液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する



そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

付属のACアダプターを使う



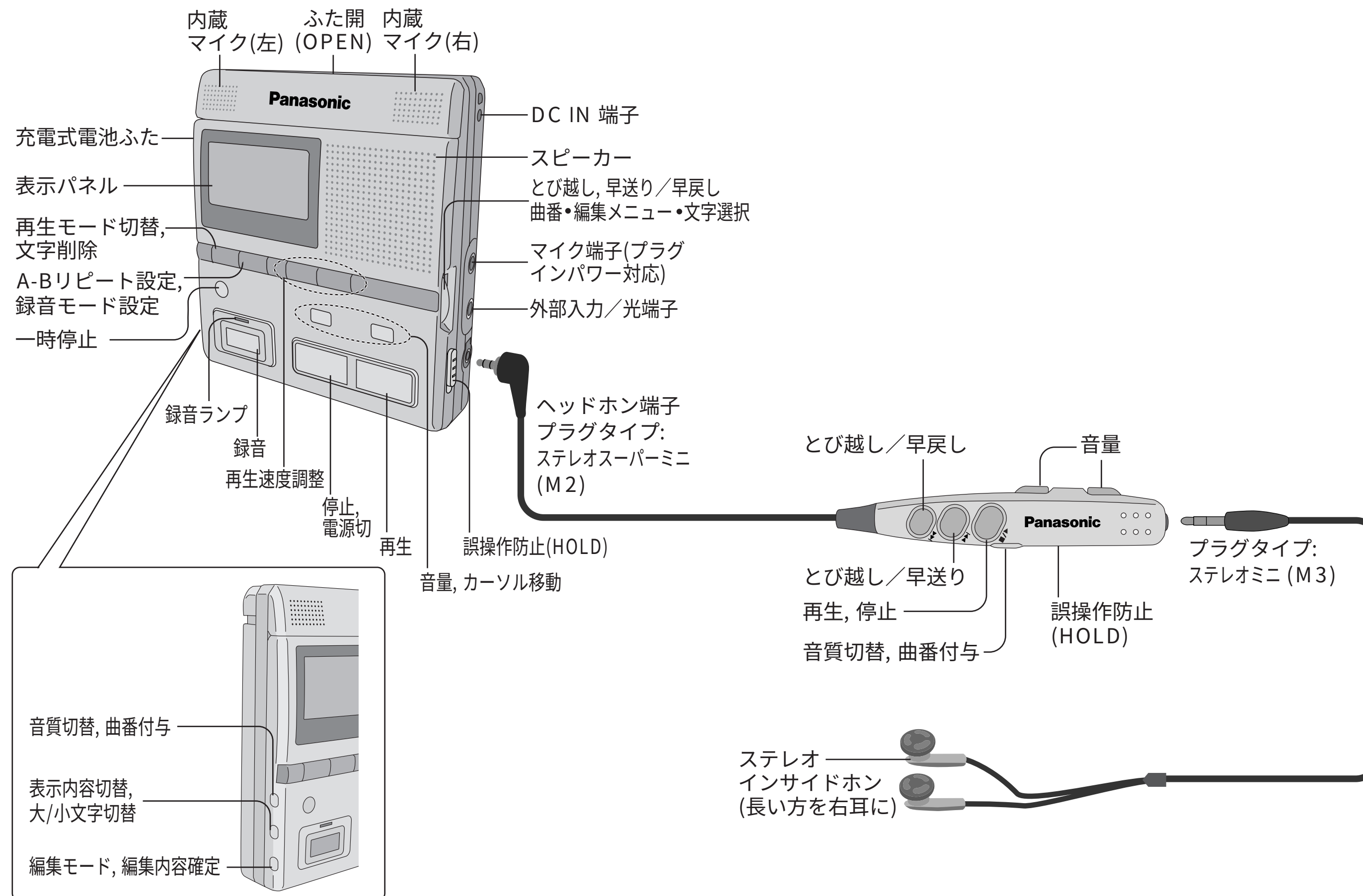
指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になります。

本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない



スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しくはたらかなくなることがあります。

各部の名称

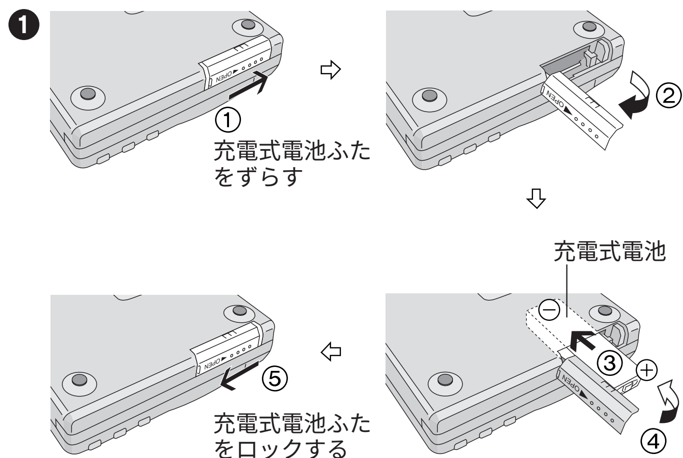


内蔵
マイク(左)
ふた開
(OPEN)
内蔵
マイク(右)
Panasonic
DC IN 端子
充電式電池ふた
スピーカー
表示パネル
とび越し, 早送り／早戻し
曲番•編集メニュー•文字選択
再生モード切替,
文字削除
マイク端子(プラグインパワー対応)
A-Bリピート設定,
録音モード設定
外部入力／光端子
一時停止
ヘッドホン端子
プラグタイプ:
ステレオスーパーミニ
(M2)
録音ランプ
録音
再生速度調整
停止,
電源切
再生
誤操作防止(HOLD)
音量, カーソル移動
とび越し／早戻し
音量
とび越し／早送り
再生, 停止
音質切替, 曲番付与
誤操作防止
(HOLD)
プラグタイプ:
ステレオミニ (M3)
音質切替, 曲番付与
表示内容切替,
大/小文字切替
編集モード, 編集内容確定
ステレオ
インサイドホン
(長い方を右耳に)

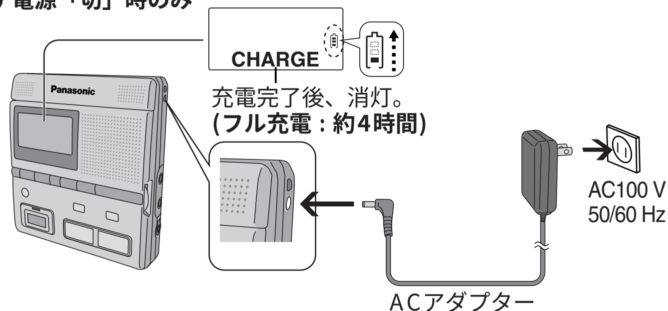
電源の準備

充電式電池　購入直後もまず充電!

❶



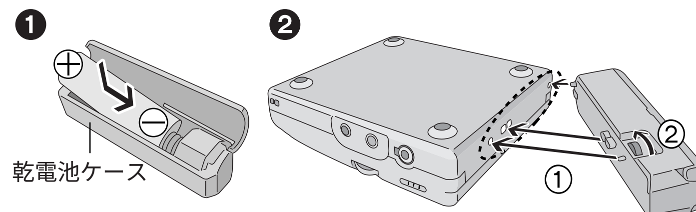
❷ **電源「切」時のみ**



- 電池残量を使い切らなくても継ぎ足し充電が可能です。
- 長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜くことをおすすめします。本体にACアダプターを接続していない状態でも約0.1 Wの電力を消費します。

乾電池　（別売り：単3形アルカリ）

❶ ❷



- 充電式電池との併用で長時間使用できます。(☞ 32ページ「主な仕様」)

電池残量表示



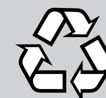
- 電池交換すると、音量はVOLUME12に、その他もお買い上げ時の設定に戻ります。

ACアダプター

本体にACアダプターを接続する。(☞ 左記❷)

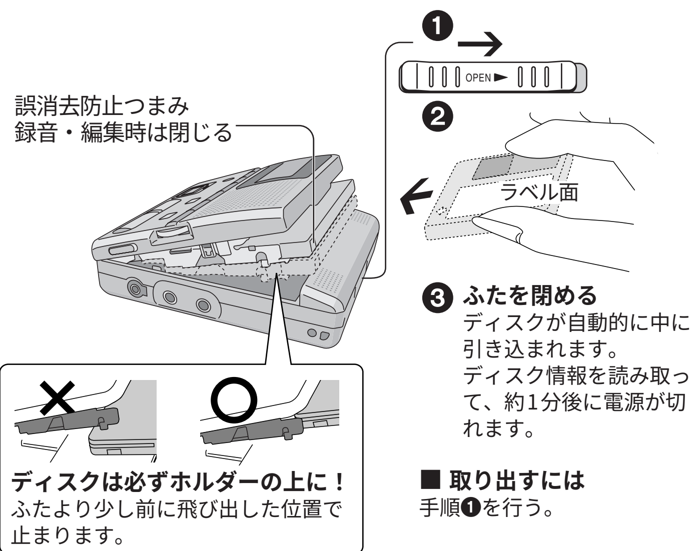
- 付属のACアダプターは、交流100 Vのみに使用できます。
- 海外でお使いになるときは、市販の変換プラグ、変圧器をご用意ください。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み電池の届け先：
- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、(社) 電池工業会へご確認ください。(ホームページ：http://www.baj.or.jp)



ニッケル水素電池使用

ディスクの出し入れ



❸ **ふたを閉める**
ディスクが自動的に中に引き込まれます。
ディスク情報を読み取って、約1分後に電源が切れます。

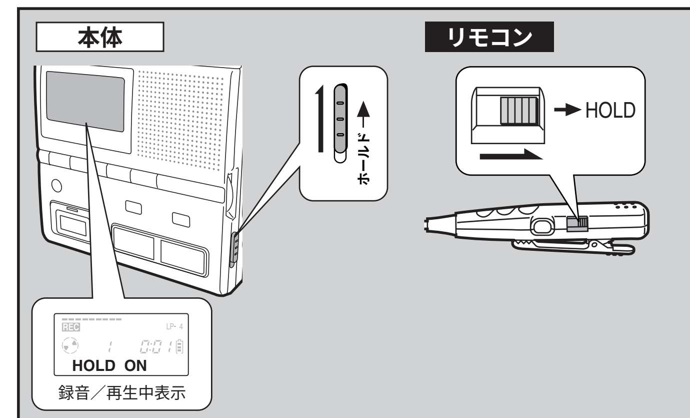
ディスクは必ずホルダーの上に！
ふたより少し前に飛び出した位置で止まります。

■ **取り出すには**
手順❶を行う。

故障の原因になりますので、次のことにご注意ください
- ディスクのほこりを取り除いて使用する。
- 本機を落下させない。（特に、ディスク出し入れ時。内部に精密部品を使用しています。）

ホールド機能

ボタン操作を受け付けません。
勝手に電源が入ったり、使用中に、録音・再生などの操作が中断することを防止します。
- 本体をホールドにしてもリモコン操作できます。リモコンをホールドにしても本体操作できます。



- “HOLD ON”または“HOLD OFF”は、本体でホールド操作した時のみ表示します。

■ **解除する**

矢印と逆方向にスライドする
“HOLD OFF”と表示します。（本体のみ）

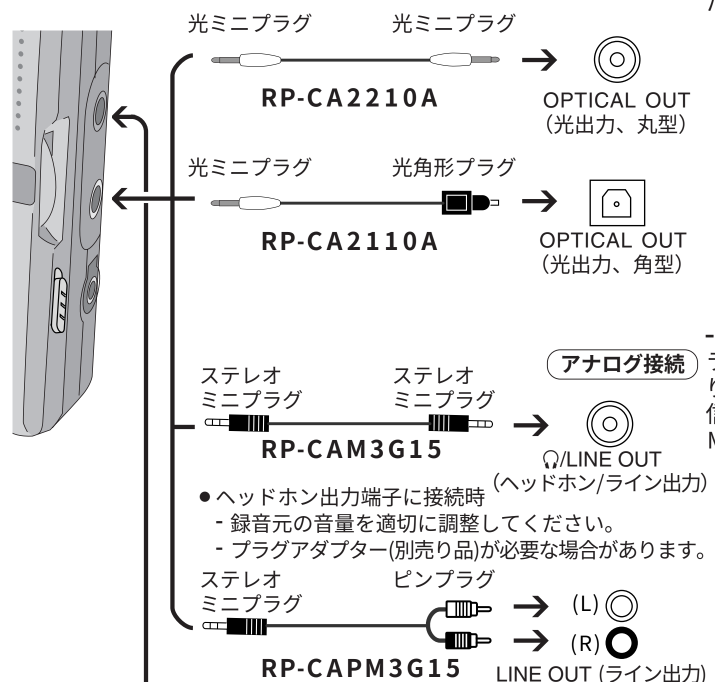
録音する機器と接続する

●接続前に本機の電源を切り、接続する機器の説明書もよくお読みください。
●接続コードは別売りです。品番は2004年9月現在のものです。変更されることがあります。

下記と接続しない場合は、内蔵マイク（☞ 6ページ）から録音されます。

音響機器と接続

●録音元のイラストは代表例です。音声出力端子の形状を確認し、接続してください。



●ヘッドホン出力端子に接続時
- 録音元の音量を適切に調整してください。
- プラグアダプター(別売り品)が必要な場合があります。

デジタル接続 CDなどのデジタル信号をそのままデジタル信号で録音します。ただし、録音回数に制限があります。(☞ 下記)

●本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーなどサンプリング周波数の異なるデジタル機器に接続しても、自動的に本機の周波数に変換して、録音できます。

■ 録音回数の制限

(SCMS：シリアル・コピー・マネージメント・システム)

CDなどからMDにデジタル接続して録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音ができます。そこで著作権保護のため、このMDからさらに別のMDへデジタル接続して録音できません。アナログ接続すればMDから別のMDへ録音できます。DVD VideoまたはDVD Audioには、デジタル接続時、一回も録音できないものがあります。

アナログ接続 ラジオやテープなどのアナログ信号を、デジタル信号に変換して録音したり、CDなどのデジタル信号を一度アナログ信号に変換した後、デジタル信号に変換して録音します。録音回数に制限はありませんので、録音済のMDから別のMDに録音する場合に使います。

ヘッドホンステレオ、ラジカセ、ラジオ、テレビなど

外部マイクと接続

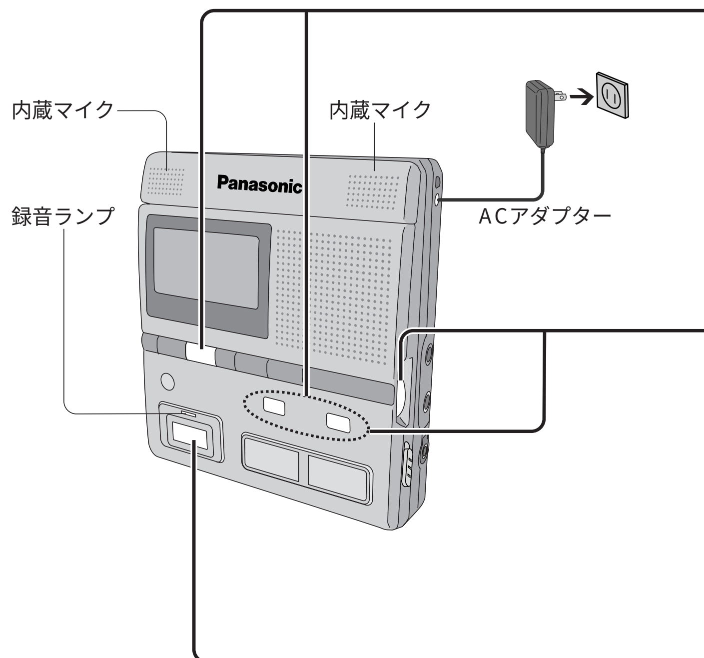
●他機器を同時に接続しないでください。 ●内蔵マイクは自動的にオフになります。

会議、講演や野外で音楽などを録音する

●別売り品(RP-VC201、またはRP-VC300)をお求めください。
●本機の動作音が録音されないように、外部マイクを本機から離してください。

録音する

- 録音用MDを入れ、ホールドを解除する。(☞ 8ページ)
- 手順❶で [A-Bリピート, 録音モード]を押して以降の操作は、それぞれ1分以内に行ってください。



内蔵マイクで録音する

❶ 長時間録音するか選ぶ

電源「切」時に押し、 **押して長時間録音するか選ぶ**

録音モード A-Bリピート　SP/LP　▶　音量 − カーソル ＋　LP4

SP (表示なし: 通常ステレオ録音) ↔ **LP2** (2倍) ↔ **LP4** (4倍)

- LP2, LP4で録音した内容は、 MD**LP** 未対応機器では再生できません (“LP:”と表示) 。SPで録音してください。
- 停止中でも、選ぶことができます。

❷ 録音感度を調整する

回して“InMicSense”を選び、 **押して録音感度を調整する**

決定　▶　音量 − カーソル ＋　SENSE H

SENSE H (音源が遠い時) ↔ **SENSE L**(音源が近い時)

■ 次の設定ができます。
- 自動音声録音(☞ 12ページ)
- 曲番の付けかた(☞ 13ページ)

❸ 録音する

押した後、内蔵マイクを音源に向ける

録音　　REC LP-4 1 0:01 MIC

- 録音ランプが赤色点灯し、前の録音部分の続きから録音します。

■ 録音中の音を聞くには

ステレオインサイドホンとリモコンを接続すると、録音中の音を聞くことができます。スピーカーからは録音中の音は聞こえません。

■ 録音を失敗しないために
- 電池切れ防止のため、ACアダプターでお使いになることをおすすめします。電池で使う場合は、充電式電池と乾電池を併用してください。(☞ 7ページ)
- 一時停止中や録音中、ふたは開きません。停止後、開けてください。
- 録音終了時の“UTOC WRITE”表示中も含め、録音中に振動を与えないでください。

他機器や外部マイクと接続して録音する

準備：録音する機器と接続する(☞ 9ページ)

❶ 長時間録音するか選ぶ

電源「切」時に押し、 **押して長時間録音するか選ぶ**



SP (表示なし: 通常ステレオ録音) ↔ **LP2** (2倍) ↔ **LP4** (4倍)

- LP2, LP4で録音した内容は、 MD**LP** 未対応機器では再生できません ("LP:"と表示) 。SPで録音してください。
- 停止中でも、選ぶことができます。

■ 次の設定ができます。
- シンクロ録音／1曲シンクロ録音 (☞ 12ページ)
- 曲番の付けかた (☞ 13ページ)
- 録音感度の調整 (☞ 13ページ)

❷ 録音する

押した後、
接続した機器を再生するか、または外部マイクを音源に近付ける



- デジタル接続時を例示しています。アナログ接続時は"ANALOG"、外部マイク接続時は"MIC"表示になります。
- 録音ランプが赤色点灯し、前の録音部分の続きから録音します。

■ 録音感度を手動調整後、録音するには
- 通常録音：[録音]の代わりに [▮▮, 一時停止]を押してください。
- シンクロ録音／1曲シンクロ録音：[録音]の代わりに [A-Bリピート, 録音モード]を押してください。

一時停止

押す





- 録音ランプが赤色点滅します。
- もう一度押すと録音再開します。曲番は１つ増えます。
- シンクロ録音、1曲シンクロ録音、自動音声録音中(☞ 12ページ)は、操作できません。

停止➠電源「切」

押す





- "UTOC WRITE"消灯、録音ランプが点滅消灯後、録音が完了します。
- 約１分後、自動的に電源が切れます。
- 録音完了後に押しても、電源が切れます。

ディスクの録音残り時間を確かめる

録音一時停止または録音中、押すたびに





↔



録音残り時間
(例：約296分49秒
録音モードに応じて表示)

録音経過時間

シンクロ録音/1曲シンクロ録音/自動音声録音(VOS録音)

それぞれの録音は、下表"○"表示のときのみできます。

録音感度を手動で調整する場合 (☞ 13ページ) は、通常録音(☞ 右記、MANUAL)に設定後、行ってください。

■ **シンクロ録音 (SYNC)**［デジタル接続 アナログ接続 のみ］
録音元に合わせて、自動的に録音を開始/一時停止します。(無音状態がデジタル接続時で約7秒、アナログ接続時で約2秒続いた時、一時停止します。)

■ **1曲シンクロ録音 (SYNC-1)**［デジタル接続 のみ］
CDの曲番1だけをシンクロ録音し、終わると自動的に一時停止します。
CDを交換し、曲番1を再生すると、録音が自動的に始まります。

■ **自動音声録音 (MIC VOS)**［内蔵マイク録音時のみ］
ある大きさ以上の音を内蔵マイクが拾うと自動的に録音が始まり、小さくなると一時停止します。ただし、曲番は増えません。
空録音の部分が少なくなり、効率の良い録音ができます。

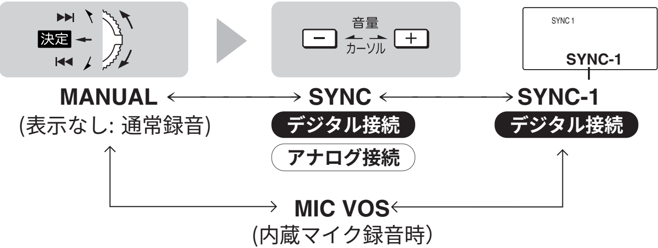
	シンクロ録音 (SYNC)	1曲シンクロ録音 (SYNC-1)	自動音声録音 (MIC VOS)
内蔵マイク	×	×	○
デジタル接続	○	○	×
アナログ接続	○	×	×
外部マイク接続	×	×	×

- "×"表示は、設定してもすべて通常録音(☞ 右記、MANUAL)されます。

10または11ページ、手順❶の後、

回して"SYNC MODE"を選び、

押して録音の種類を選ぶ



- **"SYNC"に設定すると、CS/BS放送、FM放送など音声信号が常に出ている場合、[録音]を押すと、自動的に録音が始まるのでご注意ください。**
- **"MIC VOS"に設定すると、音源の大きさに関わらず、録音開始3秒間は必ず録音されます。**

曲番の付けかた

録音時に記録される区切り(トラックマーク)により1つの曲番になります。曲番の付けかたは、選ぶことができます。

10または11ページ、手順❶の後、
回して“MARK MODE”を選び、 **押して曲番の付けかたを選ぶ**



AUTO ↔ MANUAL ↔ 3MIN ↔ 5MIN ↔ 10MIN
自動 (➪ 下記) **手動** (➪ 下記) **3分毎** **5分毎** **10分毎**

● 外部・内蔵マイク録音時、AUTO設定しても、MANUALで録音されます。

■ 自動的に曲番が付く (AUTO)

● **CDやMDとのデジタル接続で録音時**
➠CDやMDの曲番通り。

● **アナログ接続、またはCDやMD以外とのデジタル接続で録音時**
➠2秒以上無音が続く時。

曲により、正しく記録されない場合があります。
録音終了後、編集し位置を訂正してください。(☞ 18〜19ページ)

■ 手動で曲番を付ける (MANUAL)

本体 リモコン

録音中、曲番を付けたいところで押す

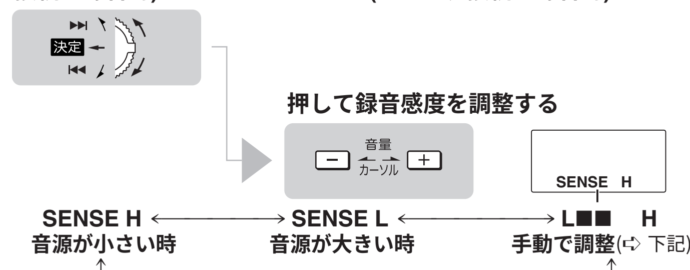


● “MANUAL”以外を選んでも、この操作で曲番を付けることができます。

録音感度の調整 ●録音する機器と接続時(☞ 9ページ)のみ

録音中、適切な感度に自動設定されていますが、必要に応じて調整できます。

11ページ、手順❶の後、
回して“ExMicSense”(外部マイク録音時)、“D-IN Sense”(デジタル接続で録音時)または“A-IN Sense”(アナログ接続で録音時)を選び、



SENSE H ←→ **SENSE L** ←→ **L■■ H**
音源が小さい時 **音源が大きい時** **手動で調整**(➪ 下記)

● **録音状況に合った録音感度**

SENSE H : CSチューナーとデジタル接続で録音時
会議などのマイク録音時
SENSE L : ステレオ機器とアナログ接続で録音時
ライブなどの大音量のマイク録音時

■ 手動で調整する

準備：- 本体にリモコンとステレオインサイドホンを接続し、[❚❚, 一時停止]を押したまま、[録音]を押して、録音待機状態にする
- 通常録音(MANUAL、☞ 12ページ)にする

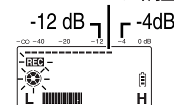
接続した機器を再生、または外部マイクを音源に近付けた後、
L■■ Hを選んで、ステレオインサイドホンで聞きながら、

本体

押して調整する



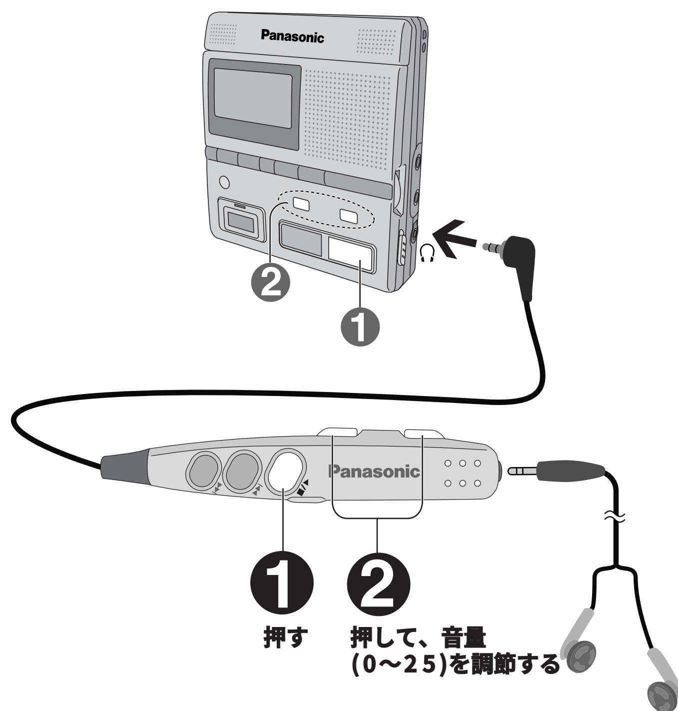
−12dB〜−4dBに調整



● 感度調整後は、接続した機器の再生を停止してください。
● デジタル接続で録音時は、録音感度の調整中、聞こえる音の大きさは変化しません。

再生する ●録音済みのMDを入れ、ホールドを解除する。(☞ 8ページ)

スピーカーで聞く場合は、リモコンをはずしてください。



❶ 押す

❷ 押して、音量(0〜25)を調節する

一時停止

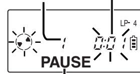
リモコン

操作できません

本体

押す(もう一度押すと再生再開します。)





数秒後、曲名になります。

早送り・早戻し（サーチ）

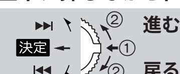
リモコン

再生中、押したままにする



本体

再生中、押しながら回す



とび越し（スキップ）

リモコン

押す



●再生中、前曲に戻るには2回続けて押してください。([|◀◀])

本体

❶ 回す





選んだ曲番と曲名

❷ 10秒以内に、押す





停止➡電源「切」

リモコン

押す

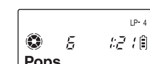


本体

押す



停止中





●約１分後、自動的に電源が切れます。
●停止中に押すと、電源が切れます。(本体のみ)

もっと使いこなす

繰り返し聞く（リピート再生）/順不同に聞く（ランダム再生）

本体

押すたびに

文字削除
再生モード

リモコン

操作できません

1-⟳ →	⟳ →	RANDOM →	⟳ RANDOM →	表示なし
1曲繰り返し	全曲繰り返し	順不同に聞く	順不同に繰り返し	通常再生

- ランダム中、再生し終わった曲へ、リモコンではスキップできません。
- 1曲リピート、ランダム中は、再生中の曲の中でサーチできます。

音質を変える

本体

押すたびに

トラックマーク/音質

リモコン

押すたびに

数秒後、曲名になります。

XBS-1 →	XBS-2 →	TRAIN →	EQ OFF
迫力ある重低音	XBS-1を強調	音もれや聞き疲れを軽減	通常の音質

- スピーカー使用時、音質は変わりません。"EQ OFF"と表示されます。

好みの範囲を指定して繰り返し聞く（A-Bリピート）

本体

❶ **再生中、開始点(A)で押す**

録音モード
A-Bリピート

リモコン

操作できません

❷ **終了点(B)で押す**

録音モード
A-Bリピート

操作できません

- [A-Bリピート, 録音モード]を押すと解除されます。
停止、スキップ（☞ 14ページ）でも解除されます。
- B点を指定する前にディスクの終端にくると、終端をB点として繰り返します。B点を指定しなおすには、再度手順❶、❷を行ってください。

再生速度を変える

本体

押すたびに

再生スピード
− +
遅 速

リモコン

操作できません

数秒後、曲名になります。

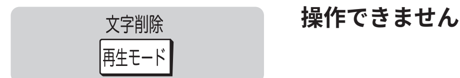
SPEED −6 ←------→	SPEED 0 ←------→	SPEED +6
遅い（通常の半分）	通常	速い（通常の2倍）

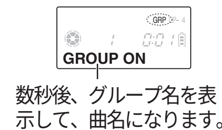
- 電源「切」にする（☞ 14ページ）と、通常の再生速度に戻ります。

好みのグループから聞く（グループ再生）

グループ設定（☞ 20ページ）したディスクは、グループ単位で再生できます。

本体	リモコン
❶ **停止中､“ GROUP ON ”と表示するまで押したままにする**	**操作できません**

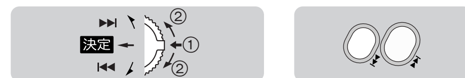


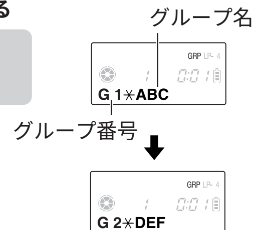


数秒後、グループ名を表示して、曲名になります。

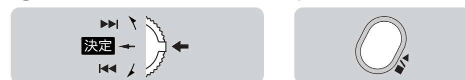
❷ **好みのグループが表示するまで**

本体	リモコン
押しながら回す	**押したままにする**





本体	リモコン
❸ **押す**	**押す**



■ グループ再生を解除する

停止中、［再生モード, 文字削除］（本体)を押したままにするたびに

GROUP ON←――――→**GROUP OFF**
グループ再生　　　　　　解除

表示内容を切り替える

本体	リモコン
押す	
	操作できません

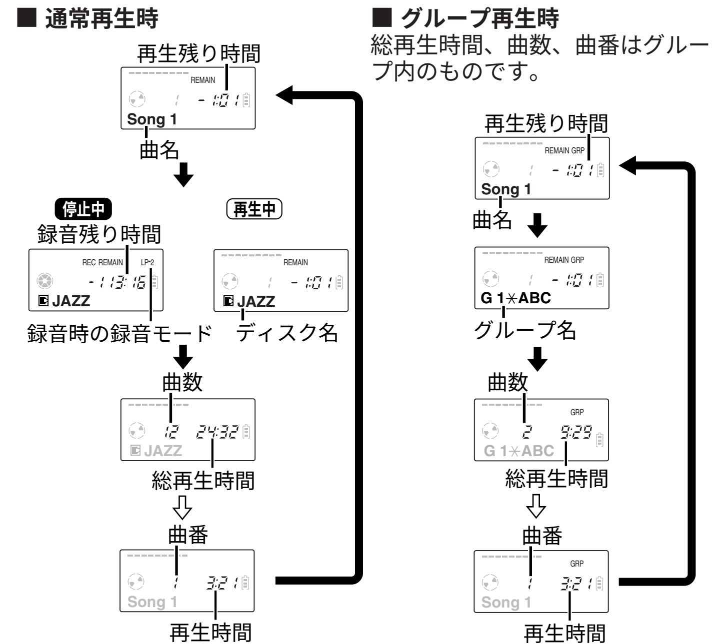


➡：操作するたびに切り替わります。
⇨：数秒表示したあと切り替わります。

■ 通常再生時

■ グループ再生時

総再生時間、曲数、曲番はグループ内のものです。



● A-Bリピート再生中は操作できません。
● 名前が記録されていない場合は “ –♪♪– ” と表示します。

その他の便利な機能　●手順❷以降は、9秒以内に

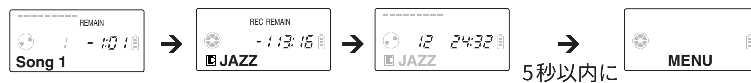
リモコン操作確認音の入・切／表示パネルの濃淡(コントラスト)の調整／ディスク名、曲名のスクロールスピード調整

本体　リモコン

❶ 停止中、“ MENU ” と表示するまで数回押す

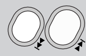
表示

操作できません



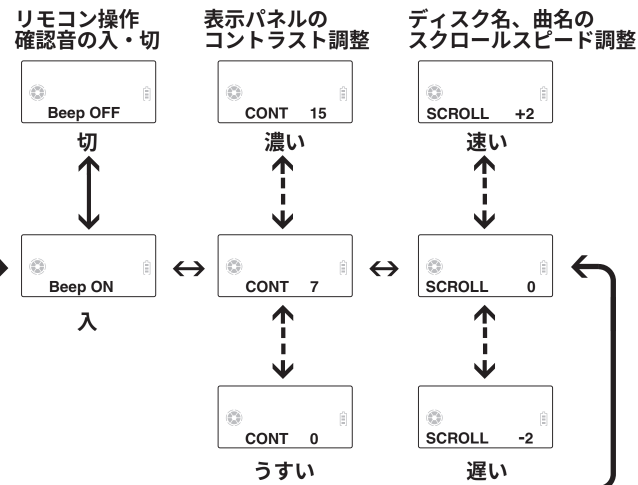
❷ 回して(本体)または押して(リモコン)、項目(“Beep ON”, “CONT 7”, “SCROLL 0”)を選ぶ

決定



❸ 押して、設定する

音量
カーソル
VOL

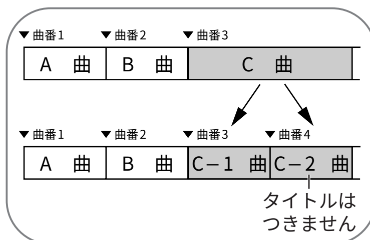


■ 通常画面に戻るには

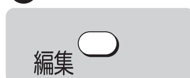
[表示] (本体) を押してください。

編集する ●本体操作のみ

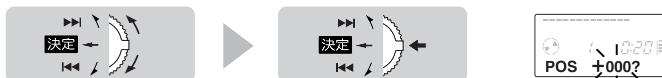
曲を分ける（ディバイド）



❶ **分ける曲の再生中に押す**

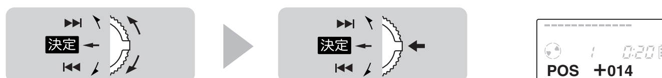


❷ **回して"DIVIDE?"を選び、押して確定する**



押した位置から約4秒くり返し再生します。

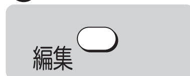
❸ **回して分ける位置を調整(−128〜+127)し、押して確定する**



"OK?"が交互に表示

通常: 約8秒、モノラル／LP2: 約16秒、LP4: 約32秒前後を調整できます。

❹ **押す**

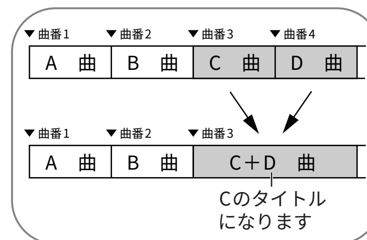


"UTOC WRITE"消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

■ **途中で止める**

手順❹までに[■, 電源切]を押す

曲をつなぐ（コンバイン）



● 異なる録音モードの曲はつなげることができません。

❶ **停止中、またはつなぐ後ろの曲の再生中に押す**



❷ **回して"COMBINE?"を選び、押して確定する**



再生中は、手順❸が不要になり、つなぐ曲の前後約8秒ずつをくり返し、つなぐ曲（例："1+2"）と"OK?"が交互に表示します。

❸ **回してつなぐ2曲の曲番を選び、押して確定する（停止中 のみ）**



"OK?"が交互に表示

❹ **押す**

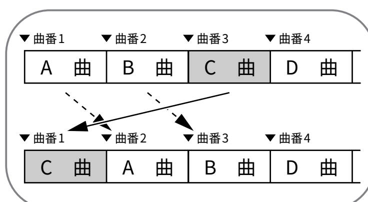


"UTOC WRITE"消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

■ **途中で止める**

手順❹までに[■, 電源切]を押す

曲を移動する（ムーブ）



❶ **停止中、または移動したいの曲の再生中に押す**

編集

❷ **回して“MOVE?”を選び、押して確定する**



1?→ - -

再生中は、手順❸が不要になり、移動先の曲番が点滅します。

❸ **回して移動する曲番を選び、押して確定する（ 停止中 のみ）**



3 → 3 ?

❹ **回して移動先の曲番を選び、押して確定する**



3 → 4

“OK?”が交互に表示

❺ **押す**

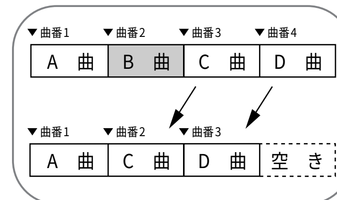
編集

“UTOC WRITE”消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

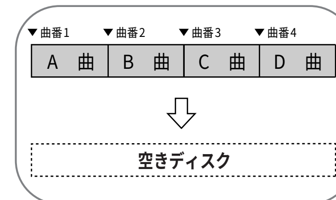
■ **途中で止める**
手順❺までに[■, 電源切]を押す

曲を消す

■ **1曲ずつ消す（トラックイレース）**



■ **全曲消す（オールイレース）**



❶ **押す(全曲消す場合は、 停止中 のみ)**

編集

❷ **回して“TR ERASE?”（トラック イレース）または“ALL ERASE?”（オール イレース）を選び、押して確定する**



ERASE 1?

再生中の曲または全曲消す場合、手順❸は不要です。

または



“OK?”が交互に表示

❸ **回して消す曲番を選び、押して確定する**



ERASE 2

“OK?”が交互に表示

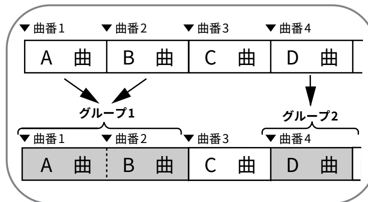
❹ **押す**

編集

“UTOC WRITE”消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。
● 全曲消すと、“ BLANK DISC ” と表示します。

■ **途中で止める**
手順❹までに[■, 電源切]を押す

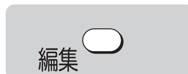
連続した曲でグループをつくる（グループ）●最大99個



- 連続していない曲をグループにすることはできません。
- グループ名をつけることができます。(☞ 手順❻)
- 1曲だけでもグループにできます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は、編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

■ グループをつくる（グループセット）

❶ **停止中に押す**



❷ **回して“GROUP?”を選び、押して確定する**

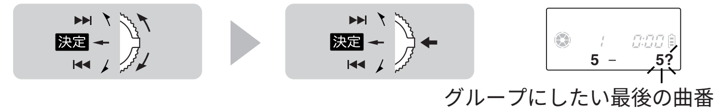


❸ **押して“SET?”を確定する**



グループにしたい最初の曲番

❹ **回してグループにしたい最初の曲番を選び、押して確定する**



グループにしたい最後の曲番

❺ **回してグループにしたい最後の曲番を選び、押して確定する**



↓ 確定後



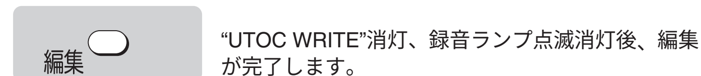
↓ 2秒後



文字入力画面

❻ **文字を入力する**(☞ 23ページ)

❼ **押す**



“UTOC WRITE”消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める

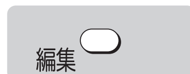
手順❼までに[■, 電源切]を押す

■ グループ機能未対応機器での再生と編集

- ディスク名は正しく表示されません。
- DIVIDE, COMBINEなどの編集をすると、グループ管理情報が使えなくなることがあります。

■ グループ名を変更する (グループタイトル)

❶ 停止中に押す



❷ 回して“GROUP?”を選び、押して確定する



❸ 回して“TITLE?”を選び、押して確定する



❹ 回してグループ名を変えるグループを選び、押して確定する



❺ 文字を入力する(☞ 23ページ)

❻ 押す



“UTOC WRITE”消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

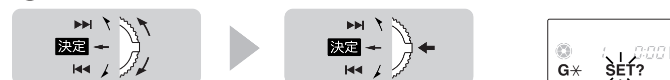
■ 途中で止める
手順❻までに[■, 電源切]を押す

■ グループを解除する (グループリリース)

❶ 停止中に押す



❷ 回して“GROUP?”を選び、押して確定する



❸ 回して“RELEASE? ” を選び、押して確定する



❹ 回して解除するグループを選び、押して確定する



❺ 押す



“UTOC WRITE”消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

■ 途中で止める
手順❺までに[■, 電源切]を押す

ＭＤになまえをつける ●本体操作のみ

録音済みＭＤにディスク名、曲名をつける

ディスク名、曲名とも、最大１００文字まで。
1枚のMDには最大１７９２文字まで。
入力できる文字数が減る例：

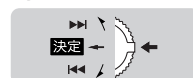
● LP2、LP4で録音された曲。(すでに "LP:"と記録されているため。)
● グループ設定の多いディスク。(グループ管理情報が記録されているため。)

❶ **停止中に押す**





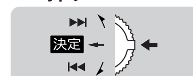
❷ **押す**





❸

Ⓐ **ディスク名をつける場合**
押す





文字入力画面

Ⓑ **曲名をつける場合**
回して曲番を選び、押して確定する





↓ 確定後



文字入力画面

❹ **文字を入力する**(☞ ２３ページ)

❺ **押す**



"UTOC WRITE"消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

● ディスク名入力後は、曲番選択画面(☞ 手順❸Ⓑ)になり、続けて曲名が入力できます。
● 曲名入力後は、次の曲名入力画面になり、くり返し曲名が入力できます。

■ 再生中、曲名をつける場合

[編集]を押した後("TR TITLE?"と表示)、手順❷、❹、❺を行ってください。

● 曲名がつくまで、再生がくり返されます。

■ 途中で止める

手順❺までに[■, 電源切]を押す

文字を入力する

20ページの手順❻、21ページ「グループ名を変更する」の手順❺または22ページの手順❹での入力は、以下の方法で行ってください。

❶ **押して文字の種類を選ぶ**

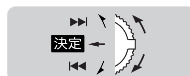


カタカナ → 英大文字 → 英小文字 → 数字記号

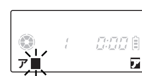
文字の種類	入力できる文字
カタカナ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ゛゜ァィゥェォャュョッー
英大文字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英小文字	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
数字記号	0123456789 !”#＄%＆’()＊+，ー．／：；<=>？@＿｀

● 記号の／は、連続して入力できません。
文字を削除後、／が連続する場合、その文字は削除できません。
先に／を削除してください。

❷ **回して文字を選び、押して確定する**







文字確定後、
続けて入力できます。

■ 文字の入力を止める

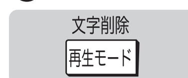
[■, 電源切]を押す

■ 文字を削除する

❶ **押して削除する文字を選ぶ**



❷ **押す**

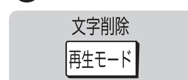


■ 文字を訂正する

❶ **押して訂正する文字を選ぶ**



❷ **押す**



❸ **文字を入力する**(☞ 左記)

■ 文字を追加する

❶ **押して追加したい場所を選ぶ**



❷ **文字を入力する**(☞ 左記)

■ 大文字↔小文字

例：A⇔a、ツ⇔ッ

❶ **押して変更する文字を選ぶ**



❷ **押す**

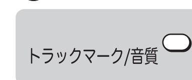


■ 空白を追加する

❶ **押して追加したい位置を選ぶ**



❷ **押す**



ＭＤになまえをつける（つづき）●本体操作のみ

他のＭＤになまえをコピーする（タイトルステーション）

- 録音用ＭＤで、曲数が同じときだけコピーできます。
  グループ設定の内容もコピーされます。
- LP2、LP4で録音された曲名を、通常ステレオ録音の曲にコピーすると、曲名の前に "LP:" が表示されます。
- ディスク名がすでに入っているＭＤにコピーすると、以前のディスク名は新しいものになります。

❶ **コピー元のＭＤを入れる**

❷ **停止中に押す**

編集

❸ **回して"TitleCOPY?"を選び、押して確定する**





2秒後



"DISC"が交互に表示

❹ **ＭＤを取り出す**



"DISC"が交互に表示

❺ **コピー先のＭＤを入れる**



❻ **押す**

編集

"UTOC WRITE"消灯、録音ランプ点滅消灯後、編集が完了します。

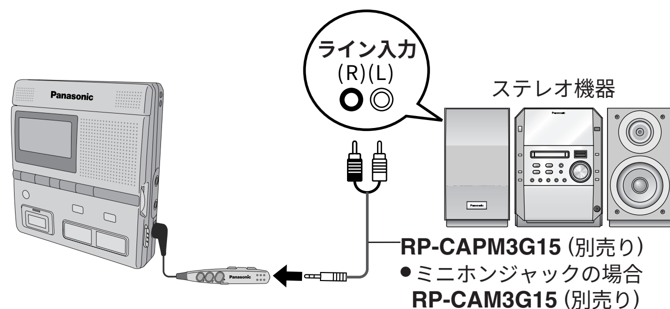
■ **途中で止める**
手順❻までに[■, 電源切]を押す

他機器と接続して使う

- 接続前に本機の電源を切り、接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 品番は2004年9月現在のものです。変更されることがあります。
- リモコン操作時、確認音が気になるときは切ってください。(☞ 17ページ)

ステレオ機器と接続する

本機の再生音を、ステレオ機器で聞いたり、録音することができます。



- 本機の音量を20～23に、音質はEQ OFF(☞ 15ページ)に設定してください。

■ その他の別売り品の紹介

- ステレオインサイドホン：RP-HJ535, RP-HJ337
- ヘッドホン：RP-HT870

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問合せ先：
（社）私的録音補償金管理協会 ☎ 03−5353−0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03)3481-2121	静岡支部	☎ (054)254-2621
北海道支部	☎ (011)221-5088	中部支部	☎ (052)583-7590
盛岡支部	☎ (019)652-3201	北陸支部	☎ (076)221-3602
仙台支部	☎ (022)264-2266	京都支部	☎ (075)251-0134
長野支部	☎ (026)225-7111	大阪支部	☎ (06)6244-0351
大宮支部	☎ (048)643-5461	神戸支部	☎ (078)322-0561
上野支部	☎ (03)3832-1033	中国支部	☎ (082)249-6362
東京支部	☎ (03)3562-4455	四国支部	☎ (087)821-9191
西東京支部	☎ (03)3232-8301	九州支部	☎ (092)441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03)5286-1671	鹿児島支部	☎ (099)224-6211
立川支部	☎ (042)529-1500	那覇支部	☎ (098)863-1228
横浜支部	☎ (045)662-6551		

ＭＤのシステム上の制約

ＭＤの録音方式には、いくつかの制約があるため、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。

症状	このような制約が
最大録音時間に満たないのに、“ UTOC FULL ” が表示される。	２５４曲録音されると、それ以上の録音はできません。
曲数も録音時間も余裕があるのに、“ DISC FULL ” が表示される。	● 録音、編集をくり返したＭＤでこのようなことが起こります。 ● ＭＤに傷がある場合、録音できなくなることがあります。
曲をつないだり、分けたりできない場合がある。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
曲を消しても録音残り時間が増えない。	録音残り時間表示では、以下の曲を無視します。このため短い曲を何曲消しても録音残り時間が増えないことがあります。 通常ステレオ録音 :１２秒以下 モノラル、LP2録音 :２４秒以下 LP4録音 :４８秒以下
録音時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間にならない。	2秒以下の音声を通常ステレオ録音するにも、約2秒分のディスク領域を使うため、実際に録音時間が少なくなることがあります。 (LP2録音:4秒、LP4録音:8秒)

Q&A (よくあるご質問)

Q（質問）	A（回答）
録音済みＭＤに上書き録音したい。	上書き録音はできません。録音残り時間が少ない場合は不要な曲を消してから録音してください。(☞ 19ページ)
録音済みＭＤの続きに録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。
録音中に、音量を変えたらどうなる？	録音される音には影響しません。
録音元の機器からの出力が小さいのですが？	推奨の接続コードをお使いください。(☞ 9ページ)
ステレオ／モノラル／MDLP再生はどう切り替える？	自動的に切り替わります。
LP2／LP4録音されたＭＤはどの機種でも再生できる？	MDLP 未対応機器では再生できません。曲名の頭に“ LP: ”と表示され無音状態になります。
電源「切」時から録音待機状態にしたい。	[❚❚, 一時停止]を押したまま、[録音]を押してください。

こんな表示が出たら

●←→は、その前後の表示を交互に表示します。

BLANK DISC	ディスクに1曲も録音されていません。
Can't COMBINE	MDのシステム上の制約でつなげません。
Can't COPY ↔ (SCMS)	デジタル接続で録音したMDからのコピーはできません。アナログ接続では可能です。(☞ 9ページ)
Can't DIVIDE	MDのシステム上の制約で分けられません。
Can't EDIT	グループ編集またはMDのなまえのコピーの操作が間違っています。(☞ 20〜21、24ページ)
P/B DISC	再生専用MDに録音、または再生専用MDを編集しようとしました。
DIGITAL IN ↔ UNLOCK	接続機器へ光デジタルケーブルを接続していません。
	接続機器の電源が入っていない、または電源が入っていても、音飛び機能を切っていません。
DISC FULL	MDの録音残り時間がありません。
DISC ↔ PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。(☞ 8ページ)
Emg-STOP	録音中に異常が発生しました。MDを入れ直してください。
F17	磁気ヘッドの異常です。販売店にご相談ください。
F17 LoTEMP F17 HiTEMP	0℃〜50℃の環境で使用していません。
GROUP DATA ↔ FULL	グループをつくったり、曲を分けたり、移動させたりできません。グループ名を削除するか、グループを解除してください。(☞ 21ページ)
HOLD	ホールド状態です。(☞ 8ページ)

NO DISC	MDが入っていません。
NO GROUP	グループ設定されていないMDが入っています。
SYSTEM ERR	自己診断により、故障と判断しました。販売店にご相談ください。
TITLE FULL	101文字以上のタイトルを入力しようとしています。101文字以降は入力できません。
TITLE OVER	他機器などで入力した101文字以上のタイトルを編集しようとしています。101文字以降は自動的に削除され、100文字以内でのみ編集できます。
TOC ERR	MDに異常があるか、損傷しています。
TOC READ	MDの情報を読み込んでいます。
TrackNO ↔ NOT SAME	コピー元とコピー先MDの曲数が異なると、タイトルコピーはできません。
TR PROTECT	曲にプロテクト(保護)がかかっています。編集していいか確認の後、操作してください。
U01 LoBATT	電池残量がありません。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。
	最大録音曲数(254曲)入っているMDで録音、または曲を分けようとしました。
UTOC WRITE	MDに情報を書き込んでいます。

故障かな!?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 充電について

充電できない	● ACアダプターを正しく接続していますか。一度、抜き差ししてみてください。 ● 指定の充電式電池を使っていますか。 ● 電源「切」になっていますか。
充電しても録音／再生時間が短い	● 初めての充電や長期間未使用後の充電では、短いことがあります。何回か使うと、通常に戻ります。 ● 充電しても録音／再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です（充電回数は約300回）。
充電中、ACアダプターが熱い	● 多少熱くなりますが、異常ではありません。

■ 一般操作について

操作できない 再生できない	● ホールドになっていませんか。(☞ 8ページ) ● 電池が消耗していませんか。 ● 露がついていませんか。(約1時間待ってから使用する。) ● レンズが汚れているかもしれません。2種類のクリーナーでお手入れしてください。 　● MDレンズクリーナー (別売り：RP-CL310) 　● MDヘッドクリーナー (別売り：RP-CL320)
スピーカーから音が聞こえない	● 録音時は、音がでません。 ● リモコンが差したままになっていませんか。

■ 録音について

録音できない	● 再生専用ディスクが入っている。 ● 誤消去防止つまみが開いている。(☞ 8ページ) ● 他の機器と正しく接続する。(☞ 9ページ) ● ポータブルCDのデジタル接続による録音では、ACアダプター接続時のみ録音可能な機種があります。ポータブルCDの電源をACアダプターに変更してください。
CD全曲を録音できない	● LP2またはLP4で長時間録音する。(☞ 11ページ) ● ディスクの録音残り時間を確かめる。(☞ 11ページ)
録音中、瞬間的なノイズが発生する	● LP4録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに発生することがあります。通常ステレオ録音またはLP2録音してください。
シンクロ録音中、曲頭が切れて録音される	● 曲により起こることがあります。シンクロ録音設定を解除（☞ 12ページ）し、通常ステレオ録音してください。
1曲シンクロ録音できない	● 曲番 “1” でのみ録音可能です。それ以外の曲番のものはできません。
内蔵(または外部)マイク録音時、ピーと音がなる	● ステレオインサイドホンと本体(または外部マイク)を離す。 ● 本体の音量を下げる。



■ 再生について

1曲目から再生できない	●ランダム再生になっていませんか。(☞ 15ページ) ●リジューム機能がはたらいていませんか。(☞ 3ページ) ●グループ再生になっていませんか。 (グループ再生を解除してください。☞ 16ページ)
音が聞こえない 音が聞こえにくい 雑音がする 音が途切れる	●ステレオインサイドホン、リモコンのプラグは奥まで入っていますか。 ●プラグが汚れていませんか。 ●携帯電話を近づけていませんか。 ●内蔵マイク録音時は、本機の動作音も録音されるため、雑音がすることがあります。 気になる場合は、外部マイク(☞ 9ページ)を接続し、本体から離して録音されることをおすすめします。 ●連続的に激しい振動を受けると、再生時間表示が消え、音が途切れます。
録音したMDを再生すると、音が小さい	●他機器とヘッドホン出力端子で接続している場合は、接続した機器で音量を調整して録音してください。 ●録音感度が低かった。(☞ 13ページ)
リピート、ランダム、グループ再生が解除されている	●ふたの開閉、電池交換をしたり、録音、編集すると通常再生になります。
A-Bリピートの区間指定ができない	●ディスク終端では指定できない場合があります。

■ 編集について

ディスク名、曲名が途切れたり、表示しない	●ディスクに記録できる文字数を超えていませんか。 (文字数の少ないなまえに付け直してください。 ☞ 22～23ページ) ●グループ機能未対応機器で入力しませんでしたか。 (本機で入力し直してください。☞ 22～23ページ)

■ その他

本体が動かない	●電源類をいったんすべて取り外してみてください。
本体のふたが開かない	●録音・編集中は、ふたが開きません。
リモコンが正しくはたらかない	●一度プラグを抜き、奥までしっかり差し込んでください。 ●付属のリモコン以外は、誤作動の原因になります。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このポータブルMDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

28～29ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ポータブルMDレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品番	SJ-MR50	故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修 理 ご 相 談 窓 口**

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087
- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、右ページをご覧ください。

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151
- **帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712
- **秋田** 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
- **岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
- **福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
- **群馬** 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
- **茨城** つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

- **石川** 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
- **富山** 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
- **福井** 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
- **長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209
- **静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
- **名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
- **岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
- **徳島** 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
- **高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
- **愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

主な仕様

●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式：半導体レーザー (λ＝780 nm)による非接触光学式
エラー訂正方式：アドバンスト　クロス　インターリーブ　リード　ソロモンコード（ACIRC）
圧縮/伸長方式：ATRAC/ATRAC3方式
チャンネル数
ヘッドホン：2チャンネル（ステレオ）
1チャンネル（モノラル)、モノラルは再生のみ
スピーカー：1チャンネル（モノラル）
サンプリング周波数：44.1 kHz
サンプリングレートコンバーター：入力 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
周波数特性：20 Hz～20,000 Hz（＋ 0 dB ～－ 6 dB）
ワウ・フラッター：測定限界値以下

入力端子
外部入力／光端子
入力インピーダンス：22 kΩ
入力レベル：SENS H, 178 mV/SENS L, 500 mV

マイク端子
入力インピーダンス：600 Ω
入力レベル：SENS H, 0.4 mV/SENS L, 2.5 mV

出力端子
ヘッドホン端子
負荷インピーダンス：16 Ω
出力レベル：5.0 mW＋5.0 mW

スピーカー：φ28 mm, 8 Ω
実用最大出力（DC時）：120 mW (JEITA)

電源
本体
充電式電池：DC 1.2 V（付属充電式電池）
乾電池：DC 1.5 V（単3形アルカリ乾電池×1個）
ACアダプター：AC 100 V　50/60 Hz
入力容量：7 VA
出力：DC 1.8 V　500 mA

寸法（幅×高さ×奥行）
本体寸法：79.3×87.4×20.4 mm
最大外形寸法：80.9×88.3×23.4 mm（JEITA）
質量：約142 g/約115 g (充電式電池含む/含まず)

電池持続時間（JEITA, 水平に置いて連続して、アナログ録音／内蔵マイク録音したとき）

使用電池	ステレオ（通常）	LP2ステレオ（2倍長時間）	LP4ステレオ（4倍長時間）
付属充電式電池(フル充電時)	約13/9.5時間	約18/15時間	約23/19時間
単3形アルカリ乾電池	約14/11時間	約22/17時間	約32/26時間
上記併用時	約34/25時間	約48/40時間	約58/53時間

電池持続時間（JEITA, 水平に置いて連続して、ヘッドホン/スピーカー再生したとき）

使用電池	ステレオ（通常）	LP2ステレオ（2倍長時間）	LP4ステレオ（4倍長時間）
付属充電式電池(フル充電時)	約26/9.5時間	約35/10時間	約40/11時間
単3形アルカリ乾電池	約43/13時間	約60/14.5時間	約70/15.5時間
上記併用時	約74/26時間	約94/27時間	約113/29時間

フル充電時間：約4時間
● 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

ACアダプターの待機時消費電力……………………………**約0.1 W**

Power Supply

Refer to the illustrations on page 7.

The rechargeable battery

❶ **Put the battery into the unit.**

❷ **Connect the AC adaptor to the [⊖-⊂-⊕ , DC IN 1.8 V] on the unit.**

Recharging begins.

"CHARGE" appears on the display while recharging and "CHARGE" disappears when the battery is fully charged. It takes approximately 4 hours to recharge the supplied battery.

Insert an MD

Refer to the illustration on page 8.

❶ **Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow to open the lid.**

❷ **Slide the MD between the guides so it clicks into place.**

❸ **Now close the lid.**

Slide [OPEN ▶] in the direction of the arrow to remove the disc. The disc springs out from the unit.

The HOLD Function

Refer to the illustration on page 8.

Slide in direction of arrow.

(Slide in opposite direction to release.)

- The unit and remote control each have independent HOLD switches.

Recording

Recording with built-in microphone

Refer to the illustrations on page 10.

Preparation

- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.

❶ **Press [A-Bリピート, 録音モード] and press [⇠ −, + ⇢, 音量, カーソル] to select the recording mode when the unit is off or while stopped.**

The mode changes each time you do this.

LP2 (X 2)
↕
LP4 (X 4)
↕
No display (Normal stereo recording)

❷ **Turn the jog dial to select "InMicSense" and press [⇠ −, + ⇢, 音量, カーソル] to adjust the recording sensitivity.**

The sensitivity changes each time you do this.

"SENSE H" ↔ "SENSE L"

❸ ① **Press [録音] to start recording.**
② **Face the built-in microphone towards the source of the sound.**

■To stop recording

Press [■, 電源切].

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can even turn off the unit by pressing it again while stopped.

Recording with the other equipment or outer microphone

Refer to the illustrations on pages 9 and 11.

Preparation

- Release HOLD.
- Insert a recordable MD.
- Connect this unit to a unit that has a digital output terminal or stereo LINE OUT terminals, or the microphone.

❶ **Press [A-Bリピート, 録音モード] and press [⇠ −, + ⇢, 音量, カーソル] to select the recording mode when the unit is off or while stopped.**

The mode changes each time you do this.

LP2 (X 2)
↕
LP4 (X 4)
↕
No display (Normal stereo recording)

❷ ① **Press [録音] to start recording.**
② **Begin playback of the source or face the microphone towards the source of the sound.**

■To stop recording

Press [■, 電源切].

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can even turn off the unit by pressing it again while stopped.

Playback

Refer to the illustrations on page 14.

Preparation

- Release HOLD.
- Insert an MD.
- Connect the remote control and stereo earphones, then insert the remote control's plug into the headphone jack [🎧] on the unit.

  You can listen through the speaker without connecting the remote control and stereo earphones.

❶ **Press [■/▶] (remote control) or [▶] (main unit) to start play.**

❷ **Press [+, −, VOL] (remote control), or [⇠ −, + ⇢, 音量, カーソル] (main unit) to adjust the volume.**

■To stop playback

Press [■/▶] (remote control) or [■, 電源切] (main unit).

- The unit powers itself off automatically in about a minute.
- You can even turn off the unit by pressing again [■, 電源切] (main unit) while stopped.

Editing MDs

DIVIDE (Dividing a track into two)

❶ **Press [編集] during play.**

❷ **Turn the jog dial to select "DIVIDE?" and press it.**
A 4 second segment of the track is played repeatedly, beginning at the point selected.

❸ **Turn the jog dial to adjust the point you want to divide the track and press it.**
Adjustments can be made approximately 8 seconds (16 seconds if the track is monaural or recorded with LP2, 32 seconds if the track is recorded with LP4) either side of the original point. (–128 to +127)

❹ **Press [編集].**

COMBINE (Combining 2 tracks)

❶ **Press [編集] while playing the latter of the two tracks you want to combine or while stopped.**

❷ **Turn the jog dial to select "COMBINE?" and press it.**
While playing, the last 8 seconds of the former track and the first 8 seconds of the latter track play repeatedly.

❸ **When performed while stopped Turn the jog dial to select the two tracks to combine.**

❹ **Press [編集].**

Editing MDs

MOVE (Moving tracks)

Rearrange the order of the tracks.

❶ **Press [編集].**

❷ **Turn the jog dial to select "MOVE?" and press it.**

❸ **When performed while stopped Turn the jog dial to select the track to be moved and press it.**

❹ **Turn the jog dial again to select the new position and press it.**

❺ **Press [編集].**

TRACK ERASE (Erasing one track)

❶ **Press [編集].**

❷ **Turn the jog dial to select "TR ERASE?" and press it.**

❸ **When performed while stopped Turn the jog dial to select the track you want to delete and press it.**

❹ **Press [編集].**

ALL ERASE (Erasing all tracks)

❶ **Press [編集] while stopped.**

❷ **Turn the jog dial to select "ALL ERASE?" and press it.**

❸ **Press [編集].**
"BLANK DISC" appears on the display.

Titling MDs

Titling discs and tracks

Discs and tracks recorded with standard stereo recording mode can have titles with up to 100 characters. Tracks recorded with LP2 or LP4 can have titles with up to 97 characters.

❶ **Press [編集] while stopped.**
"TITLE?" appears on the display.

❷ **Press the jog dial.**
"DiscTITLE?" appears on the display.

❸ Ⓐ ***When titling a disc***
Press the jog dial again.
The text editing mode is entered.
Ⓑ ***When titling a track***
Turn the jog dial to select the track you want to title and press it.
The text editing mode is entered.

❹ **Enter the title.** (See right.)

❺ **Press [編集].**

■To title tracks while playing

After pressing [編集] ("TR TITLE?" appears), do the steps 2, 4 and 5.

Titling MDs

Entering text

❶ **Press [▶] (main unit) to select the type of character.**
The type changes each time the button is pressed.

Katakana	→	English capitals
↑		↓
Numerals and symbols	←	English lower case

❷ **Turn the jog dial to move the cursor over the character you want to enter and press it to enter the character.**

■Erasing a character

❶ **Press [←ー, ＋→, 音量, カーソル] to move the cursor over the character you want to erase.**

❷ **Press [再生モード, 文字削除].**

■Correcting titles

❶ **Press [←ー, ＋→, 音量, カーソル] to move the cursor over the character you want to correct.**

❷ **Press [再生モード, 文字削除].**

❸ **Enter the text.**

■Inserting an extra character

❶ **Press [←ー, ＋→, 音量, カーソル] to move the cursor over the place you want the character to go.**

❷ **Enter the text.**

さくいん

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
　（ヘ）本書のご添付がない場合
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic 持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品　番		SJ-MR50
保証期間		お買い上げ日から **本体1年間**
※お買い上げ日		年　月　日
※お客様	ご住所	
	お名前	**様**
	電　話（　）　ー	
※販売店	住所・氏名	
	電話（　）　ー	

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。